

東部地区

～ここは ぼくらの イーデトープ（理想郷）～

【2030年の将来像】

心安らぐ田園風景とあたたかな地域のつながりが、「住んで良かった」、「訪れて良かった」と実感できるまち。

- 丘陵地帯である眺山の豊かな里山と、白川が育む豊かな田園地帯を大切に守り育てていきます。また、みどり豊かに恵まれた住環境のなかで住民が豊かに安心して生活し、地域全体で子どもを守り育てる地域を目指します。
- 水芭蕉や桜回廊、松岡文殊堂、獅子舞などの豊かな地域資源を継承し、地域住民の連携と自主的な活動が、地域の伝統文化を守り、景観の保全や農林業の活性化を支える地域を目指します。
- 道の駅、しらさぎ荘、東山工業団地、バイオガス発電施設などの拠点が新たな産業と交流を生み出し、新たな賑わいと交流が創出する地域を目指します。



【地区の概要データ】

（令和2年4月1日時点）

人口 男558・女614 計1,172 世帯数444 集落数9 高齢化率44%

【現状と課題】

- 進学や就職による若者の流出などのほか、未婚者が増えつつあり、少子高齢化が進み、高齢者のみ世帯や単身世帯が増加している。人口や世帯数の減少により、地域や団体において個人が担う役割が増え、負担感が増してきている。
- 若者の定着が進まないことで子どもの数も減少し、小学校再編が協議されている。また、子どもが自由に遊ぶことができる公園等の施設が少ない。
- かつては多くあった商店も激減し、買い物は他市町のスーパーや大型店を利用している。一方で公共交通手段は限られ、高齢者は免許を返納すると日常生活にも不便をきたしている。
- 冬季間の雪対策の負担は大きく、地域の除雪支援の取り組みがあるが、管理不全の空き家も多く、地域の住環境の課題となっている。
- 地域の一大イベントである「添川温泉ふるさと温泉祭り」は開催時期や開催方法など、工夫や負担軽減を求める声がある。
- 地域の魅力や資源を再認識し、愛郷心を醸成するために自分達の地域を深く知る機会が必要。
- 若者や女性の意見を地域づくりや地区計画に反映させ、若者や女性が生き生きと活躍できる場の構築が求められている。

【地区の資源・宝物】

眺山からの眺望景観、ながめやま牧場、米沢牛発祥の地、上代から川西への県道の桜並木、眺山の桜回廊、水芭蕉群、白川及び白川公園、松岡文殊堂、ビオトープ、東山工業団地、飯豊少年自然の家、道の駅、めざみの里観光物産館、国道113号など、交通の便が良い、添川小学校、添川児童センター、添川温泉、宿泊施設、添川住宅団地、添川温泉ふるさと祭り、アスパラガス、すがい肉屋の馬刺し、お米がおいしい、豊かな農地

【地区の将来像を実現するための重点事業】

事業概要	地区の役割	行政の役割
子育て世代も高齢者も安心快適に暮らせる地域	実行組織編成 計画と実行	財政援助 施設利用に係る支援 計画時・実行時におけるアド バイス
農業・観光・新産業による地域経済振興と地域活性化		
地域の文化振興と発信		

【アクションプラン】

アクションプランの概要	1. 子育て世代も高齢者も安心快適に暮らせる地域	
(詳細) 子どもたちとその親世代が集い、のびのびと遊びながら学力・体力を向上させることができる環境を構築します。また、高齢者が集い、仲間と安心して過ごせる場所を整備することで、高齢者の生活に楽しみと喜びを提供し、家族に安らぎの時間を提供します。		
アクションプラン①	実施時期	実施主体
しらすぎ荘と東部地区公民館・東部地区まちづくりセンターを中心に、子どもたちだけでも安心して遊べる施設や、親世代が気軽に集い子育ての情報交換と親同士のネットワークを構築できる場所を創設します。	令和3～12年度	地区長会 地区公民館・ まちづくりセンター
アクションプラン②	実施時期	実施主体
添川住宅団地を始めとして、地区に子育て世帯を呼び込むことで、地域の人口を増やすとともに子ども人口を増やし、学校や児童センターの存続や地域の賑わい再生を目指します。	令和3～12年度	地区長会
アクションプラン③	実施時期	実施主体
地区内の空き家を活用した低料金の喫茶団欒スペースの創設や、しらすぎ荘、東部地区公民館・東部地区まちづくりセンターと連携し、入浴と団欒スペース(必要に応じて軽食の提供)をセットにしたプランの提供など、高齢者が家にこもらず外に出て仲間との交流を持つことのできる環境を構築します。また、東部地区公民館・東部まちづくりセンターの更なる有効活用や分館のコミュニティスペースとしての活用について話し合い、地域の人達が集まる場づくりを進めます。	令和3～12年度	地区長会 地区公民館・ まちづくりセンター
アクションプラン④	実施時期	実施主体
地域の支え合い事業(例として高齢者宅除雪ボランティアや見守り活動)の継続と若者世代の参加促進により、事業を通じて地域コミュニティの強化を図ります。	令和3～12年度	地区長会

アクションプランの概要	2. 農業・観光・産業による地域経済振興と地域活性化	
<p>(詳細) 東部地区に豊富にある農業・観光・産業(企業)といった資源を連携・活用し、地域経済の振興と地域の活性化を図るため、検討組織と計画づくりを行います。</p> <p>休耕地を活用した果樹栽培など、地域性にあった付加価値の高い農業を推進することで、耕作放棄地など農地の荒廃を防ぎ、豊かな田園景観の維持管理に努めます。</p> <p>また、地域資源を活用したコミュニティビジネスの可能性について検討し、参加者の生きがいづくりなどの高齢者福祉、地域における雇用創出や経済振興につなげます。</p>		
アクションプラン①	実施時期	実施主体
<p>農業・観光・産業(企業)の連携・活用のための検討組織の立ち上げと計画づくり</p>	令和3～5年度	地区長会
アクションプラン②	実施時期	実施主体
<p>風土と地質に合った高収益作物を模索 風土と地質に合った高収益作物の選定(農産物として、加工品として、またはその両方で高収益) 栽培方法、加工及び販売の調査研修(例：ブドウ栽培とワイン作り)</p> <p>試験栽培実施 計画賛同者による試験栽培開始 地域資源の活用とブランド化を目指してバイオガス発電の副産物である液肥を利用</p> <p>加工品づくり 加工品づくり。場合によっては委託により実施 試験販売</p> <p>作付け面積の拡大 新規作付け農家と新規就農者への支援体制を構築する。 休耕農地と遊休農地を活用し栽培面積を拡大する。 地域に収益をもたらすと共に、豊かな田園景観の保全を図る。</p>	令和5～12年度	地区長会
アクションプラン③	実施時期	実施主体
<p>耕作放棄地を利用し、地域住民参加型の作物作りと、収穫した作物を利用した地域の交流会を実施する。</p>	令和3～12年度	地区長会
アクションプランの概要	3. 地域の文化振興と発信	
<p>(詳細) 水芭蕉や桜回廊、松岡文殊堂、獅子舞などの豊かな地域資源を継承し、地域住民の連携と自主的な活動の展開により、地域の伝統文化を守り、景観の保全や地域コミュニティの活性化を推進します。また、自分たちの地域を深く知ること、地域の魅力や資源を再認識し、愛郷心を醸成します。</p>		
アクションプラン①	実施時期	実施主体
<p>観光物産館と共に、由緒ある松岡文殊堂のPR、参拝者増加とそれによる物産館来客数増加の相乗効果について検討します。例として、物産館に松岡文殊堂の由来等の看板を設置することで、松岡文殊堂の認知度を向上させると共に、物産館からの観光客の流れを生むような仕組みを構築します。また、クラウドファンディング等で資金を募り、物産館から松岡文殊堂への参拝ルートを整備、文殊堂改修を実施し、かつての隆盛を再興します。</p> <p>また、利用者マナーを徹底した上で松岡公園キャンプ場の活用を促進し、町外客を呼び込めるレジャーポイントとします。</p>	令和3～7年度	地区長会

アクションプラン②	実施時期	実施主体
添川温泉祭りのテーマ付け・意義を再考し、例として東部地区内の神社とのコラボレーションによる獅子舞の競演、竿灯の復活など、地域外からも集客を生む祭りを地域全体で作り上げるにより、地域の活力を再興します。	令和3～5年度	地区長会 添川祭実行委員会
アクションプラン③	実施時期	実施主体
東部地区の地域資源、住環境、イベント等を発信することのできる場をSNS等で立ち上げ、継続的な情報発信を行います。	令和3～5年度	地区長会

【土地利用の考え方】

(かつて作成した「東部土地利用計画」(第3次総合計画)を基本とした田園景観の保全を核とした土地利用計画を、住民の合意を形成しながら進める。)

【土地利用ゾーニング】

